【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【公表番号】特表2012-511649(P2012-511649A)
【公表日】平成24年5月24日(2012.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2012-020
【出願番号】特願2011-540280(P2011-540280)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｈ　5/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｈ　5/02　D

【手続補正書】
【提出日】平成24年11月21日(2012.11.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
プレハブ式および現場建ての部品を用いて現場で保冷容器およびその内部要素を建てるハイブリッド法であって、
少なくとも一つの塔を基礎に実質的に垂直な向きで固定し、
少なくとも四つのコーナー柱材を、前記基礎の端部に実質的に垂直な向きで固定し、
前記塔および配管の周りに囲いを作るように、補強とともに複数のプレハブ式パネルを前記コーナー柱材に取り付け、
屋根を前記囲いに取り付ける、という複数のステップを具備し、
前記少なくとも一つの塔のすぐ近くにおいて、パイプラックモジュールを前記基礎に実質的に垂直な向きで固定し、
相互連結配管を前記パイプラックモジュールと前記少なくとも一つの塔との間に取り付ける、ことを特徴とする方法。
【請求項２】
前記パイプラックモジュールが前もって作られた請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記パイプラックモジュールが、制御弁、手動弁、サンプル接続部、配管、バルブアクチュエータを有する前もってカットされたパネル、計装、蒸気堰、照明、はしごおよびプラットホーム、事前に配線された接続箱、機器／電気ケーブルトレー、配管支持具、交換箱へのダクト、およびポンプモジュールからなるグループから選ばれた一つ以上の要素を備える請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記少なくとも一つの塔は、ウェースライン、セパレータポット、大きい安全弁ラインからなるグループから選ばれた一つ以上の要素を備える請求項１に記載の方法。
【請求項５】
さらに第２のパイプラックモジュールを取り付ける、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記第２のパイプラックモジュールが、ウェースライン、セパレータポット、大きい安全弁ラインからなるグループから選ばれた一つ以上の要素を備える請求項５に記載の方法。

【請求項７】
前記プレハブ式パネルがボルト締めによって前記コーナー柱材に取り付けられる請求項１に記載の方法。
【請求項８】
前記プレハブ式パネルが垂直にまたは水平につなげられる請求項１に記載の方法。
【請求項９】
前記プレハブ式パネルがボルトで前記基礎の端部に、又は隣接するプレハブ式パネルに取り付けられる請求項８に記載の方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
もちろん、そのような実際の実施形態の開発において、多数の具体化－具体的な決定は、一つの実施と他の実施との間を変動するであろうシステム関係およびビジネス関係の制約に合致するような、開発者の具体的な目的を達成するために作られなくてはならないことは理解されるであろう。さらに、このような開発努力は複雑で時間がかかるかもしれないが、とはいっても、この開示の利益があれば技術的に通常の技量の開発努力における当たり前の仕事であろうことは理解されるであろう。
以下に、出願当初の特許請求の範囲の内容を付記する。
［１］プレハブ式および現場建ての部品を用いて現場で保冷容器を建てるハイブリッド法であって、
少なくとも一つの塔を基礎に実質的に垂直な向きで固定し、
前記少なくとも一つの塔のすぐ近くにおいて、パイプラックモジュールを前記基礎に実質的に垂直な向きで固定し、
相互連結配管を前記パイプラックモジュールと前記少なくとも一つの塔との間に取り付け、
少なくとも四つのコーナー柱材を、前記基礎の端部に実質的に垂直な向きで固定し、
前記塔および配管の周りに囲いを作るように、補強とともに複数のプレハブ式パネルを前記コーナー柱材に取り付け、
屋根を前記囲いに取り付ける、という複数のステップを具備する方法。
［２］前記パイプラックモジュールが前もって作られた［１］に記載の方法。
［３］前記パイプラックモジュールが、制御弁、手動弁、サンプル接続部、配管、バルブアクチュエータを有する前もってカットされたパネル、計装、蒸気堰、照明、はしごおよびプラットホーム、事前に配線された接続箱、機器／電気ケーブルトレー、配管支持具、交換箱へのダクト、およびポンプモジュールからなるグループから選ばれた一つ以上の要素を備える［１］に記載の方法。
［４］前記少なくとも一つの塔は、ウェースライン、セパレータポット、大きい安全弁ラインからなるグループから選ばれた一つ以上の要素を備える［１］に記載の方法。
［５］第２のパイプラックモジュールをさらに備える［１］に記載の方法。
［６］前記第２のパイプラックモジュールが、ウェースライン、セパレータポット、大きい安全弁ラインからなるグループから選ばれた一つ以上の要素を備える［５］に記載の方法。
［７］前記プレハブ式パネルがボルト締めによって前記コーナー柱材に取り付けられる［１］に記載の方法。
［８］前記プレハブ式パネルが垂直にまたは水平につなげられる［１］に記載の方法。
［９］前記プレハブ式パネルがボルトで前記基礎の端部に、又は隣接するプレハブ式パネルに取り付けられる［８］に記載の方法。